

平成28年度 大田区立山王小学校 自己評価 報告書

○ 本校の概要

山王小学校は大正14年の開校以来、よき校風・伝統を受け継いできた。私たちはその思いや期待をしっかりと受け止め、諸先輩が積み重ねてきた「山王小学校の教育」を大切にしながら、更に充実・発展させていかなければならない。そのために、都・区の学力向上調査や全国学力・学習状況調査の結果、スポーツテストの課題を踏まえながら、アクティブ・ラーニングを意識した授業改善を進め、子供一人一人に徳・体・知のバランスのとれた「21世紀型の学力」をしっかりと身に

○ 自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

大項目	目標	取組内容	目標に対する成果指標	成果評価	これまでの取組及び今後の改善策	学校関係者コメント
学力向上	児童・生徒一人ひとりの学ぶ意欲を高め、確かな学力を定着させます。	学習カルテを基に児童・生徒と面談し、一人ひとりの学習のつまずきや学習方法について、指導する。	4: 学校評価アンケート 「子供は 勉強が分かり基礎的・基本的な学習内容を身に付けている」の満足度の回答が90%以上である	4	<ul style="list-style-type: none"> ・3年生以上の算数で実施している「習熟度別少数指導」については、年々、地域・保護者の理解が深まってきている。 ・学級担任と算数少数担当と学習指導講師との連絡を密にし、授業の進度に合わせた補習のプログラムを作成している。土曜日実施の6回を合わせ、今年度は年間62回の補習教室を実施することができた。 ・外国語指導教員の授業は、今年度、低学年8時間、中学年12時間、高学年25時間を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子供の成長に合わせた指導内容・手法の調整がよい。 ・詰め込みではなく、子供一人一人に考えさせる指導法も素晴らしい。 ・学習については、先生方はとても熱心で工夫された授業をしている。
		算数・数学到達度をステップ学習チェックシートで児童・生徒、保護者に知らせる。	3: 学校評価アンケート 「子供は 勉強が分かり基礎的・基本的な学習内容を身に付けている」の満足度の回答が85%以上である			
		学習指導講師等による算数・数学・英語の補習を実施する。	2: 学校評価アンケート 「子供は 勉強が分かり基礎的・基本的な学習内容を身に付けている」の満足度の回答が80%以上である			
		外国語教育指導員を効果的に活用し、外国の方々とコミュニケーション能力の育成を図っている。	1: 学校評価アンケート 「子供は 勉強が分かり基礎的・基本的な学習内容を身に付けている」の満足度の回答が80%未満である			
		授業改善推進プランを、授業に生かす。	基礎・基本の定着を図り、アクティブ・ラーニングを意識した学習方法を取り入れながら、思考力・判断力・表現力を育てる授業を実践している。			
豊かな心を育む	子ども一人ひとりの健全な自己肯定感・自己決定力を高め、未来への希望に満ちた豊かな人間性を育みます。	小中一貫による教育の視点に立った生活指導の充実により、社会のルールや学校のきまりなどを守ろうとする意識を高める。	4: 学校評価アンケート 「子供は きまりを守る社会性が身に付いている」の満足度の回答が90%以上である	4	<ul style="list-style-type: none"> ・自分に自信をもって学習・生活ができるよう、自己肯定感・自己有用感・自尊感情を育成している。 ・教育相談機能の充実とスクールカウンセラーとの連携をさらに強化し、児童・保護者からの相談活動の充実と活性化を図る。 ・「いじめ防止対策委員会」の設置から、児童の規範意識をさらに高める取り組みを推進し、道徳教育の一層の活性化とともに基本的生活習慣の確立をより確かなものへと進んでいく。 ・今年度はオリンピック・パラリンピック教育の一環として、魚食やヒップホップ等、様々なガストチャーザーを呼んでさまざまな体験活動を行うことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・少数ではありますが、不登校をはじめいろいろな問題をかかえている児童がいます。その子供たちに協力してくださる保護者・地域の方々に感謝申し上げます。 ・将来のために、多くの体験・情報を与える機会がある所がよいと思う。 ・きまりを守ることの大切さは、身に付いている児童が多い。 ・問題行動・不登校の傾向から児童に對しても、個別に丁寧に対応していただいている。 ・自尊感情・規範意識の向上については、特に高学年を中心に、引き続き気を配っていただきたい。
		道徳教育推進教師を講師とした研修や、国、都及び区の資料を活用した授業等を行う等道徳指導充実のための取組を行う。	3: 学校評価アンケート 「子供は きまりを守る社会性が身に付いている」の満足度の回答が85%以上である			
		学校生活調査(メンタルヘルスチェック)の結果よりストレス症状のみられる児童・生徒に対して組織的に対応する。	2: 学校評価アンケート 「子供は きまりを守る社会性が身に付いている」の満足度の回答が80%以上である			
		学校いじめ防止基本方針に沿って、いじめの未然防止、早期発見等のための取組を実施する。	1: 学校評価アンケート 「子供は きまりを守る社会性が身に付いている」の満足度の回答が80%未満である			
		問題行動・不登校問題等にかかわる児童・生徒に関するケース会議等を実施する。	豊かな体験活動は、学びの基層と捉え、外部人材(その道の専門家、地域や保護者、企業や公共機関など)の活用を図り、感動の機会を多く設定する。			
体力向上	子ども一人ひとりの身体活動量を増加させて意欲や気力の元となる総合的な体力を育みます。	新体力テストの結果を踏まえ体力向上全体計画を作成し、計画に基づいた体育指導や「一校一取組」運動や「一学級一実践」運動を実施する。	4: 学校評価アンケート 「学校は 体育の授業を工夫して行ったり基礎体力づくりを行ったりしている」の満足度の回答が90%以上である	3	<ul style="list-style-type: none"> ・「山王小学校体力向上プログラム」の策定と実施から体力向上を図る。今年度も中体連の授業を見学し、体力が培われているようには感じない。 ・「早寝・早起き・朝ごはん」はPTAを通じて、全家庭と連携をさらに図ってほしい。 ・遅刻が多いのが課題とされているが、これはやはり、家庭の問題なので、保護者の協力が必要と思われる。 ・規則正しい生活が身に付き、体力の向上も実感している。 ・学校の取り組みについて、保護者の認識がまだ上がっていないように見受けられる。学校側には継続した取り組みをお願いしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本年度の運動会・相撲大会・ドッジボール大会・学校公開での体育の授業を見学し、体力が培われているようには感じない。 ・「早寝・早起き・朝ごはん」はPTAを通じて、全家庭と連携をさらに図ってほしい。 ・遅刻が多いのが課題とされているが、これはやはり、家庭の問題なので、保護者の協力が必要と思われる。 ・規則正しい生活が身に付き、体力の向上も実感している。 ・学校の取り組みについて、保護者の認識がまだ上がっていないように見受けられる。学校側には継続した取り組みをお願いしたい。
		「早寝・早起き・朝ごはん」月間の取組等を通して、児童・生徒や保護者に対し、望ましい生活習慣についての意識啓発を行う。	3: 学校評価アンケート 「学校は 体育の授業を工夫して行ったり基礎体力づくりを行ったりしている」の満足度の回答が85%以上である			
		給食指導及び教科等における指導を通して、食生活の充実・改善をねらった「食育」を推進する。	2: 学校評価アンケート 「学校は 体育の授業を工夫して行ったり基礎体力づくりを行ったりしている」の満足度の回答が80%以上である			
		体育的行事、部活動、休み時間など様々な機会を通して運動習慣の確立を推進する。	1: 学校評価アンケート 「学校は 体育の授業を工夫して行ったり基礎体力づくりを行ったりしている」の満足度の回答が80%未満である			
		体育授業の準備運動及び20分休みに持久走タイムを設けて体力向上を目指す。				
教育環境向上	教員の指導力向上、施設の整備や講師・支援員の配置などの学校サポート体制の充実に取り組み、学習環境の向上を図ります。	授業公開日の授業評価を、その後の授業改善に生かす。	4: 学校評価アンケート 「学校は 授業を工夫し、個に応じた指導を行っている」の満足度の回答が90%以上である	3	<ul style="list-style-type: none"> ・校内研修・校外研修に参加させ、教員の指導力向上を図る。 ・管理職による授業観察を計画的に実施するとともに、主幹教諭・主任教諭等の指導的な立場の教員から、授業観察後に授業に関して指導・助言を行わせ、相互に指導力の向上をねらう。 ・月に1回特別支援委員会を実施し、サポートルームの充実した運営のために、特別支援について共通理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習・運動・授業中の様子、どれにしても必ず手はする。しない子はいない。「しないな子」に目を向けて頂きたいと思うのが願い。学校公開で珍しく手を挙げた子も増えてきた。先生方も、平日常に受け付けてくださる先生方が多くて嬉しく思っています。 ・先生方が、平日の夜遅くまで、平日もPTA行事・町会行事で参加されていていない状況に問題があると思う。そして、教員室から出て子供と触れ合う時間を確保してほしい。 ・先生方も、平日の夜遅くまで、平日もPTA行事・町会行事で参加されていていない状況に問題があると思う。そして、教員室から出て子供と触れ合う時間を確保してほしい。 ・先生方も、平日の夜遅くまで、平日もPTA行事・町会行事で参加されていていない状況に問題があると思う。そして、教員室から出て子供と触れ合う時間を確保してほしい。
		授業改善セミナー等の研修成果を生かし、主任教諭が助言・支援を行う校内研修等を実施しOJTを充実させる。	3: 学校評価アンケート 「学校は 授業を工夫し、個に応じた指導を行っている」の満足度の回答が85%以上である			
		各種研究発表会等の研究・研修の成果を、自身の授業改善に生かす。	2: 学校評価アンケート 「学校は 授業を工夫し、個に応じた指導を行っている」の満足度の回答が80%以上である			
		学力の定着と学ぶ意欲の伸長を目指し、ICT機器を活用した授業を実施する。	1: 学校評価アンケート 「学校は 授業を工夫し、個に応じた指導を行っている」の満足度の回答が80%未満である			
		校内委員会等を確実に実施し、学校における特別支援教育を推進する。				
自らの指導力向上のために、研究授業や授業公開を積極的に進行。						
家庭・地域の教育力向上	学校・家庭・地域の果たすべき役割や責任を明らかにするとともに相互の連携を深め、地域とともに子どもを育てる仕組みをつくりまします。	教育目標・学校経営方針・学校評価等の基本情報、児童・生徒の活動情報等をホームページ等で公開及び更新することにより、積極的に情報を発信する。	4: 学校評価アンケート 「学校は 教育活動の内容を手紙やホームページで、学校の情報や子供たちの様子を伝えている」の満足度の回答が90%以上である	4	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者・地域の方々が迅速に情報を閲覧できるように、ホームページの更新を計画的に実施した。 ・学年便り・学校便りにはその時々々の学校の様子や、学校と保護者が共通の認識をもつための内容を盛り込み、学校広報としての機能の充実をさらに図る。 ・月に一度、PTA・学校支援地域本部との打ち合わせを行う。また、年4回の地域連絡協議会では現在の学校の課題等を話し合い、特色ある教育活動を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者からの意見・要望・苦情はそれぞれ異なる。校長先生は月に一度のPTA運営委員会でも、早く学校と保護者が共通の認識をもつための内容を盛り込み、学校広報としての機能の充実をさらに図る。 ・月に一度、PTA・学校支援地域本部との打ち合わせを行う。また、年4回の地域連絡協議会では現在の学校の課題等を話し合い、特色ある教育活動を実施する。
		地域教育連絡協議会において、児童・生徒の変容等の具体的な資料を作成して、評価に必要な学校の情報を適切に提供し、適正な評価を受けるよう努める。	3: 学校評価アンケート 「学校は 教育活動の内容を手紙やホームページで、学校の情報や子供たちの様子を伝えている」の満足度の回答が85%以上である			
		学校支援地域本部と連携するなどして、地域力を生かした特色ある教育活動を実施する。	2: 学校評価アンケート 「学校は 教育活動の内容を手紙やホームページで、学校の情報や子供たちの様子を伝えている」の満足度の回答が80%以上である			
		「見える対応、素早い対応、みんなでの対応」を合言葉に、保護者などからの要望や意見、或いは苦情に誠意をもって接し、報告・連絡・相談を心がけ、学校組織で対応する。	1: 学校評価アンケート 「学校は 教育活動の内容を手紙やホームページで、学校の情報や子供たちの様子を伝えている」の満足度の回答が80%未満である			

○「成果評価」は、各校が4段階で定めた成果指標によって行う。
 ○記入にあたっては、各学校で取り組んでいる自己評価項目に照らし、該当する項目を取りまとめて行う。
 ○学校関係者評価の「評価」は、A: 自己評価は適切である B: 自己評価はおおむね適切である C: 自己評価は適切ではない D: 評価は不可能である の4点について、評価した人数を記載する。